

鳥取縣公報

第八百九十六號

昭和十三年一月二十五日

火曜日

告示

◇鳥取縣告示第四十三號

小鴨村土地區劃整理組合長及組合副長左記ノ通選任ノ件昭和十三年一月二十一日認可セリ

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取縣東伯郡小鴨村大字生田

組 合 長 水 谷 庄 藏

鳥取縣東伯郡小鴨村大字福守

組 合 副 長 小 林 文 藏

◇鳥取縣告示第四十四號

昭和十一年三月鳥取縣告示第四百四十五號海岸林造成苗木交付規程第三條ニヨル昭和十二年度ニ於テ

交付スベキ苗木ノ種類、數量及價格左ノ通定ム

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事

立田清

辰

樹種	數量	千本當單價	備考
黒松	一六二、六〇〇本	二圓八〇	單價ハ東伯郡由良町大字妻波字金鑄谷地内 縣苗圃渡シトス
佛國海岸松	四六、八〇〇	三圓〇〇	
ニセアカシヤ	一一、〇〇〇	一圓八〇	
ネム	五、〇〇〇	一圓八〇	

鳥取縣告示第四十五號
左記ノ通養蠶實行組合解散ノ届出アリタリ

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事

立田清

辰

養蠶實行組合名	事務所	所在地	解散年月日
福部村	岩美郡福部村大字	見二百九十一番併合地 二百九十三番併合地	昭和十二年十二月二十日

浦富町 牧谷	同	浦富町大字牧谷四百十三番地	同	十一月十八日
北谷村	同	東伯郡北谷村大字三江四百三十三番地	同	十二月二十日
日下村上井昭和	同	日下村大字上井一百四十四番地	同	十二月二十日
上淺津北部	同	淺津村大字上淺津三番地	同	一月五日
淺津村	同	淺津村大字下淺津百六十三番地	同	一月七日
上郷村	同	上郷村大字大杉六百二十六番地	同	十二月二十日
槻下村	同	伊勢崎村大字槻下六百八十八番地	同	十二月三十一日
下伊勢西部	同	市勢村大字下伊勢四百二十番地	同	十二月三十一日
上淺津南部	同	淺津村大字上淺津五百三十九番地	同	一月五日
山郷村	同	八頭郡山郷村大字西谷五百二十二番地	同	十二年十二月十三日
日下村	同	安部村大字日下部二百八番地	同	十二月十八日
山上第二	同	散岐村大字山上二百六十一番地	同	十二月二十一日
清徳	同	八東村大字清徳六十一番地	同	十二月十一日

船岡同

船岡村大字船岡七十二番屋敷

同

十二月十三日

◆鳥取縣告示第四十六號

氣高郡豊實村段下第二耕地整理組合設立ノ件認可セリ

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

◆鳥取縣告示第四十七號

昭和十二年水害復舊耕地事業補助規程左ノ通定ム

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

昭和十二年水害復舊耕地事業補助規程

第一條 昭和十二年ノ水害ニ因リ荒廢セル耕地及耕地ニ關スル公共施設(道路、水路、井堰、溜池等)

ヲ昭和十二年度ヨリ昭和十四年度迄ニ於テ復舊セントスルモノニ對シ本規程ノ定ムル所ニ依リ每

年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ交付ス但シ事業ノ爲支出シタル費用ニシテ他ノ團體又ハ個人

ヨリ補助金、獎勵金又ハ寄附金等ヲ受ケタルモノニ對シテハ補助金ヲ交付セズ

耕地

事業費ノ二分ノ一

公共施設

事業費ノ五分ノ二

第三條 補助金ノ交付ヲ受ケントスルモノハ第一號様式ノ願書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ前年度ノ

三月末日迄ニ出願スベシ但シ昭和十二年度ニ在リテハ昭和十三年二月末日迄トス

一 設計書

二 事業費年度割豫算書

三 公共施設事業ニシテ許可又ハ認可ヲ要スルモノニアリテハ其ノ許可又ハ認可書寫

法人ニ係ルモノハ當該事業ニ對スル收支豫算書ヲ添附スベシ

數人共同シテ事業ヲ行フ場合ニ在リテハ代表者ヲ定メ委任狀ヲ添附スベシ

第四條 補助金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

第五條 設計書又ハ事業費年度割豫算書ヲ變更セントスルトキハ理由ヲ具シ第二號様式ニ依リ知事

ノ認可ヲ受クベシ

第六條 工事ヲ開始シ又ハ完了シタルトキハ遲滯ナク第三號様式ニ依リ之ヲ届出ヅベシ

第七條 補助金ノ交付ヲ受クルモノハ第四號様式ニ依リ申請シ工事ノ指導監督ヲ受クベシ

第八條 補助金ヲ請求セントスルトキハ年度終了後一箇月以内ニ事業成績書收支決(精)算書ヲ添へ

第五號様式ニ依リ請求書ヲ提出スベシ

補助金ハ年度割事業費ノ三分ノ一以上竣功シタルトキハ分割請求ヲ爲スコトヲ得

第九條 補助金ハ實地検査ノ上之ヲ査定交付ス

第十條 補助金ノ交付ヲ受クルモノハ事務所ヲ設ケ事業ノ狀況、費用ノ收支其ノ他事業ニ關スル事項ヲ明カニスベキ書類、帳簿ヲ備付クベシ

第十一條 補助金ノ交付ヲ受クルモノニ對シテハ當該官吏、吏員ヲシテ書類、會計物件若ハ工事ヲ

検査セシメ指導監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

工事検査ノ爲必要アリト認メタルトキハ工事ヲ取毀サシムルコトアルベシ此ノ場合ニ於テ其ノ部

分ノ復舊費ハ事業者ニ於テ負擔スルモノトス

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ補助金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ

全部若ハ一部ヲ返還セシムルコトアルベシ

一 本規程又ハ本規程ニ基キ發スル命令ニ違反シ其ノ他不正ノ行爲アリト認メタルトキ

二 工事ノ出來形不完全若ハ工事ノ停止、廢止等竣功ノ見込ナシト認メタルトキ

三 詐欺ノ手段ヲ以テ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

第十三條 本規程ニ依リ提出スル書類ハ總テ其ノ工事施行地ニ屬スル市役所又ハ町村役場及臨時水

災復興事務局耕地係派出所ヲ經由スベシ

第十四條 本規程ニ依ル事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル一箇年トス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

昭和十二年水害復舊耕地事業補助願

別紙設計書記載ノ事業ヲ施行致度候ニ付御補助相成度水害復舊耕地事業補助規程ニ依リ此段相願候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

知 事 宛

第二號様式

昭和十二年水害復舊耕地事業設計書變更認可申請

昭和 年 月 日鳥取縣受耕第 號補助指令ニ基ク設計書(事業費年度割豫算書)

別紙理由ニ依リ變更致度候條御認可相成度關係書類添附此段申請候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

知 事 宛

第三號様式

昭和十二年水害復舊耕地事業開始(完了)届

昭和 年 月 日鳥取縣受耕第 號指令ニ基ク工事ハ昭和 年 月

日開始(完了)致候條此段御届候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

知 事 宛

第四號様式

昭和十二年水害復舊耕地事業指導監督申請

00544

一 工事施行位置

二 工事ノ種別

三 希望ノ時期

四 何 々

右工事指導監督相受度候條係官御派遣相成度此段及申請候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

知 事 宛

第五號様式

昭和十二年水害復舊耕地事業補助金請求書 (第 回)

一金 圓也

昭和 年度事業ノ爲支出シタル金額 耕 共 施 地 圓ニ對スル 三分ノ一 圓

昭和 年 月 日鳥取縣受耕第 號ニ基ク補助金御交付相成度事業成績書及收支

決(精)算書添附此段請求候也

00545

事業成績書

知事宛 氏名 住所 年月日

昭和 年度 (自昭和 至昭和 年 月 日) 事業成績書

工種	復舊豫定工	前年度迄	本年度	終了豫定時期	備考
	事ノ數量	了	了	日	
耕地	町歩	町歩	町歩	昭和 年月 日	
道路	間	間	間	昭和 年月 日	
水路	間	間	間	昭和 年月 日	
溜池	箇所	箇所	箇所	昭和 年月 日	
井堰	箇所	箇所	箇所	昭和 年月 日	
其他	箇所	箇所	箇所	昭和 年月 日	

00546

- 一 耕地ニ在リテハ開田、開畑ニ區別スルコト
- 二 工事施行後ノ土地利用狀況ヲ末尾ニ詳細記入ノコト
- 三 豫定ノ數量ヲ終了セザリシモノニ付テハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記入ノコト

收支決(精)算書

昭和 年度 (自昭和 至昭和 年 月 日) 收支決(精)算書

科	目	當初ヨリ前年度迄	本年度	附	記
備考	補助金、獎勵金、寄附金、雜收入等ハ附記欄ニ詳細説明ノコト	收入額	收入額		
支	出				
科	目	復舊設計	前年度迄ニ支出シタル事業費額	本年度ニ支出シタル事業費額	計
		豫算總額			殘額
					附記

備考 支出ノ附記欄ニハ本年度支出事業費ノ内譯ヲ記載スルコト

鳥取縣告示第四十八號

當管内ニ於ケル健康保險醫中左ノ通異動アリタリ

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

診療所々在 地 氏 名 異 動 事 項 異 動 年 月 日

岩美郡小田村大字荒金 宍戸 將秋 他縣へ轉出 昭和十二年十二月十六日

鳥取縣告示第四十九號

當管内ニ於ケル健康保險醫左ノ通指定セリ

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

専門科名 診療所々在 地 氏 名 指 定 年 月 日

内科 外科 岩美郡小田村大字荒金 村田 正顯 昭和十三年一月二十二日

鳥取縣告示第五十號

健康保險法施行規則第二十三條ニ依リ交付シタル被保險者證中左ノモノハ之ヲ無効トス

昭和十三年一月二十五日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

被保險者證 記號一番號	被保險者氏名	工場事業場又ハ 事務所所在地並 名稱	無効トセル被保 險者證交付年月 日	無効トナリタル 年 月 日	考
鳥 六〇	福田朝男	鳥取市職人町山 陰電氣株式會社	昭和十二年 七月九日	昭和十三年 一月四日	
西 一四〇	竹内貞子	西伯郡渡村大字渡 保責任弓濱生糸 販賣購買利用組合	昭和十二年 十二月三日	昭和十二年 十二月二十日	
米 四四	近岡藤樹	米子市万能町長 谷川商會	昭和十年 十一月四日	昭和十三年 一月十三日	
鳥 五	山本 傳	鳥取市吉方町 植田清進堂	昭和十年 三月十五日	昭和十三年 一月六日	
同	谷口秀美	右 同	昭和十一年 五月十三日	同	
同	藤田正司	右 同	昭和十一年 六月十八日	同	

彙報

日 ひ	一八五	山形新吾	日野郡多里村 廣瀬鑛山	昭和十二年 六月二十八日	昭和十二年 十二月三十日
鳥 い る	一	山根政次郎	鳥取市賀露町 石黒造船所	昭和十二年 二月二十七日	昭和十二年 十二月十五日
西 た は	二八	村田信一	西伯郡淀江町 武田商店	昭和十二年 三月九日	昭和十三年 一月十日

行旅死亡人

一 發見場所及日時

長野縣埴科郡森村字屋代口府縣道森屋代線道路上西端(中村溜池ノ東端道路上)

一本 籍 住所氏名不詳一見コジキ風男性

一年 齡 推定年齡六十四、五歳身長五尺一寸位

一人 相 頭部ガハゲ上リ一寸位ノ白髪ヲ殘シテ居リアゴニハ長サ五寸位ノ白イ髪ガ有ル色白キ方

特 徴 左腕關節ニ桃ノ刺青有リ

着 衣

古メリヤ、シャツ二枚茶縞ノ單衣一、茶白トマヂリ色ノ鳥打帽子一、メリヤスノズボンヲハキボロノ袴天ノ様ナモノヲ着ス

一所 持 品 一錢銅貨ニケ、足袋十一文ノ全購聯ノ地下足袋ヲ穿ツ右心當リノ向ハ長野縣埴科郡森村長宛照會セラレタシ

昭和十三年一月十四日

鳥取縣總務部統計課

昭和十二年

夏 秋 蠶

昭和十二年ニ於ケル夏秋蠶ハ

養蠶戶數 二七、〇一一戶

掃立數量 一、二四九、二九八疋

收繭高 六七八、六二二貫

價 額 二、八〇九、四一〇圓

掃立數量 一、二四九、二七八疋

繭收繭高 六七八、六一五貫

繭價 額 二、八〇九、三七五圓

白	繭收繭高	二〇疋
黄	掃立數量	三五圓
繭收繭高	價 額	七貫
繭價 額	價 額	

ニシテ前年ニ比シ左ノ如キ減少ヲ示セリ

養蠶戶數	八九二戸減(三分二厘)
掃立數量	一五〇、三六三瓦減(一割七厘)
收繭高	一三六、二七九貫減(一割六分七厘)
價額	八三三、五八二圓減(二割二分九厘)
掃立數量	一四九、二九九瓦減(一割七厘)
收繭高	一三五、六二六貫減(一割六分七厘)
價額	八三〇、六一一圓減(二割二分八厘)
掃立數量	一、〇六四瓦減(九割八分二厘)
收繭高	六五三貫減(九割八分九厘)
價額	二、九七一圓減(九割八分八厘)

蓋シ本年ノ夏秋蠶ハ全縣下ニ亘リ桑樹萎縮病發生シ又局部的ニハ旱魃ニ因ル發育不良ノ爲桑葉量ノ減收ヲ見越シ掃立ヲ手控タル結果前年ニ比シ養蠶戶數八九二戸(三分二厘)掃立數量一五〇、三六三瓦(一割七厘)ノ各減少ヲ示セリ

蠶作ハ天候不順ニシテ蠶兒ノ生々ヲ妨ゲ加フルニ九月十一日ノ暴風雨ハ桑葉ノ收穫ヲ減少セシメ

ルノミナラズ桑質低下シ病蠶タ、發生ヲ見タル地方アリタト掃立減少ニ依リ前年ニ比シ收繭高一三六、二七九貫(一割六分七厘)價額ハ八三三、五八二圓(二割二分九厘)ノ各減少ヲ見ルニ至リ

尙郡市別ニ示セバ次ノ如シ

昭和十二年夏秋蠶郡市別

郡市	養蠶戶數		掃立數量		收繭高		價額	
	前年ニ比シ	増減	前年ニ比シ	増減	前年ニ比シ	増減	前年ニ比シ	増減
總數	二七、〇一	△八九二	一、三四九	△一五〇、三六三	六六、六三三	△二六、二七九	二、八〇九、四〇〇	△八三三、五八二
鳥取市	三三	〇	一三、九一〇	六〇〇	七、八九〇	三六	三、八五	一、〇六〇
米子市	一八五	△三九	一三、八四七	九〇六	八、八〇五	△一、〇〇一	三七、九〇一	△六、九三四
岩美郡	一、七三三	七九	三七、七〇四	△九、二五二	二四、三三三	△六、八〇一	一〇三、〇六八	△三九、六九五
八頭郡	三、六三三	△二六六	六四、八二一	△七、三〇八	四三、一八	△七、六八五	一八六、一九	△四九、四〇五
氣高郡	三、四八一	△二四三	九二、四三三	△二七、二九六	五四、二九七	△三三、五〇四	三〇〇、八八九	△二五、八九
東伯郡	九、二九	△九二	四六五、六五	△八八、九三	二八、〇七三	△一〇〇、二二	八八二、四〇〇	△五三、〇八八
西伯郡	七、四五六	△二七九	五三七、三三一	△一五、九五	三〇七、七〇	四、九九七	一、二七四、二五	△八二、六二〇
日野郡	九七六	△一〇〇	二四、九七七	△一、三二四	一四、三六	△二、三六二	六二、〇〇一	△一四、九六一

00553

昭和十二年 繭 產 額
昭和十二年中ノ養蠶ハ

掃立數量	收繭高	價 額
春 蠶 一、〇八四、七一五瓦	八六四、六九八貫	四、七七三、三〇九圓
夏秋蠶 一、二四九、二九八	六七八、六二二	二、八〇九、四一〇
計 三、三三四、〇一三	一、五四三、三二〇	七、五八二、七一九
ニシテ其ノ合計ヲ前年ニ比較スレバ		
掃立數量	二五四、四六五瓦增(一割二分二厘)	
收 繭 高	一九〇、八八五貫增(一割四分一厘)	
價 額	一、二四八、五六五圓增(一割九分七厘)	

ヲ示セリ

蓋シ本年ノ蠶作ハ春蠶ニアリテハ概ネ氣候適順ニシテ桑樹ノ伸長蠶兒ノ生育良好ニ經過シ、前年ノ如キ桑樹ノ雪害ナカリシト且糸價ノ好調ニ伴ヒ掃立ヲ増加シタルニ依リ前年ニ比シ激増ヲ示セリ。之ニ反シ夏秋蠶ニアリテハ桑樹萎縮病發生シ又局部的ニハ旱魃ニ因ル發育不良ノ爲桑葉量ノ減收ヲ

00554

見越シテ掃立ヲ手控ヘタルト一面天候不順、且暴風雨ノ被害ヲ蒙リ桑質低下シ病蠶ノ發生ヲ見タル地方アリテ前年ニ比シ減少ヲ示セルモ春蠶、夏秋蠶、ヲ合算シタルモノニ付テ前年ト對比スルトキハ掃立數量二五四、四六五瓦(一割二分二厘)收繭高一九〇、八八五貫(一割四分一厘)價額一、二四八、五六五圓(一割九分七厘)ノ各増加ヲ示セリ。

而シテ養蠶實戸數ハ二九、五三七戸ニシテ之ガ一戸當リヲ觀レバ收繭高ハ五二貫、價額二五七圓ニシテ前年ニ比シ左記ノ如ク何レモ增收ヲ見ルニ至レリ。

養 蠶 實 戸 數	一 戸 當 リ	價 額
昭和十二年	收 繭 高	二五七圓
	五二貫	
昭和十一年	收 繭 高	二一五圓
	四六貫	

一月二十六日發行「週報」掲載内容左記ノ通

週報第六十七號掲載内容

- 一 政府の所信 (近衛内閣總理大臣)
- 一 青年學校教育の義務制 (文 部 省)
- 一 遊撃戦術 (陸 軍 省 新 聞 班)

一 長期抗戰の動脈を斷つ

(海軍省海軍軍事普及部)

一 第七十三回帝國議會に於ける國務大臣の演說

昭和十三年一月廿五日印刷
昭和十三年一月廿五日發行

發行者 鳥取縣鳥取市東町
印刷所 鳥取縣氣高郡大正村大字古海
鳥取刑務支所